

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.07.04)

文、写真：武田

日時：2024(令和6)年7月4日(木) 9:30～15:00

気象：曇り→晴

活動エリア：44 林班い

活動内容：地域環境保全

参加者(会員) 猪川 誠、石田美和、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、坂井祥郎、佐々木一雄、
武田壽夫、寺田昭弘、当山清之、宮本 廣 計 12 名

<台風の置土産>

6年前の台風21号の傷跡は本山寺山でもまだまだ随所に残る。例えば山頂南東斜面。その処理が今日のメイン作業。& 足下のダンドボロギク(段戸檻樓菊)退治を始めること。

これは外来種で、シカの忌避植物。従ってシカの食害で従来の植生が破壊された場所では増加傾向にあるそう。また、火災や伐採、土砂災害などで土が露わになると、突然現れ、しばしば大群落となる。ただ、長くは続かず、時間とともに元の植生が回復すると、やがて姿を消してしまうらしい。(←千葉県野田市のHPより) 群落は本山寺山でも倒木を処理し、日当たりが良くなった山頂部や旧道に見られるようになっている。

<山頂部のボロギク退治>



<退治したボロギク>



<今日の成果>

約 550 m²の林床を整備、倒木は 10 本を処理。ボロギクは約 10m の間を整理。旧道のボロギクを確認。暑い暑い!!!!。

<老婆心ながら ポンポン山へのハイカーにお知らせ>

本山寺手前の自然歩道の一部が崩落している。その先にトイレがあるのだが、バキュームカーが通れないので、トイレは暫く利用出来ない、とのこと。早く復旧出来れば良いが・・・

<写真編>

<活動地への入口:ハイカーはご遠慮を>



<横たわる台風禍の倒木>



<玉切り材を棚積みに運搬>



<上写真の作業後>



<シカの食害;先月植えた桜の苗木もペロリ>



<旧道脇のボロギク>

